

募集要項

開始時期:令和8年4月から2年間

募集人員:9名予定 別途、広島大学病院たすきがけ研修コース2名予定

提出書類締切:令和7年7月末

選考試験:令和7年8月初旬～中旬 ※試験日はできる限りご希望に添えるようにいたしますので、ご連絡下さい。

その他

東広島市から当院初期臨床研修医に対する

研修奨励金交付制度(60万円/年間)があり、研修医本人に対して支給されます。

本制度をご利用いただき、臨床研修に活かして下さい。

研修病院等

1年次:東広島医療センター(基幹型病院)

内科(24週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)必修

2年次:地域医療(一般外来)(4週)、救急医療(12週)必修

その他は自由に選択可

協力型病院:賀茂精神医療センター精神科、広島西医療センター血液内科、広島大学病院眼科

地域医療:医療法人社団博愛会木阪病院(協力施設)、医療法人若葉会西条中央病院(協力施設)

社会医療法人千秋会井野口病院(協力施設)、医療法人社団樹章会本永病院(協力施設)

福富内科外科医院(協力施設)、大和診療所(協力施設)、広島県西部東保健所(協力施設)

処遇等

期間医師として採用。

給与:年収額 約750万円(超過勤務手当等含む・概算) 別途 通勤手当支給

休暇・休日:週休2日制(4週8休)、祝日、年次有給休暇20日、リフレッシュ休暇(有給)3日

年末年始(12月29日～1月3日)

宿日直勤務有り(交替制勤務)

社会保険:厚生労働省第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険適用

医師賠償責任保険:個人負担



臨床研修医 オフィシャルサイト

<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

応募に関するお問い合わせ 事務部管理課 庶務班長

TEL:(082)423-2176 FAX:(082)422-4675

morioka.mariko.zt@mail.hosp.go.jp

アクセス



独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地

オフィシャルサイト <https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>



初期臨床研修医 募集案内



独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センターとは

当院は、昭和14年に傷痍軍人広島療養所として発足し、平成16年4月には厚生労働省国立病院部から独立行政法人に移行し、東広島医療センターへと改称し現在に至っています。

当院の役割としては大きく分けて二つあり、その一つは国立病院機構の責務として国の政策医療を支え推進していくことです。当院は、がん、循環器病、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患に関する専門医療施設として位置づけられており国立病院機構のネットワークと連携をとりつつ最新医療を提供します。

もう一つの役割は、地域の皆様・行政および医師会などの協力のもと、医療圏における中核病院・急性期病院としての診療機能を果たすことです。



独立行政法人 国立病院機構

東広島医療センター

臨床医療研修プログラム 概要

当院の臨床研修プログラムは、研修医が医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけるばかりでなく、研修医にとって選択性・自由度の高いものとし、研修医自身の希望・個性に合わせた研修ができることを目的としています。

当院の臨床研修プログラムは東広島医療センターを管理型とし、賀茂精神医療センター及び広島西医療センター、広島大学病院を協力型とした独立行政法人国立病院機構組織で研修病院群を構築し、研修協力施設としての広島県西部東保健所、大和診療所(三原市)、井野口病院、木阪病院、西条中央病院、本永病院、福富内科外科医院とともにプログラムの遂行にあたります。



(左・中)平成25年オープン
新外科診療棟ホールと受付
(右)平成28年オープン
新治療棟手術室

東広島医療センターは地域医療の中核としての役割を担い 高度で専門的な医療を行っています

充実した病院機能で、幅広い分野で多くの経験ができます



平成25年5月よりドクターヘリの運行開始



プライマリケアから、高度な
専門医療まで多くの症例を、
経験豊かな指導医の下で研修できます



平成26年度広島県集団災害医療
救護訓練リハーサル風景

初期研修スケジュール

年間研修予定(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月
1年目	内科						小児科	産婦人科	外科	精神科	選択科目		
2年目	地域医療	選択科目				救急医療			選択科目				

プログラムの自由度が高く、個人の目的に合わせた柔軟なカリキュラムで研修することができます。



平成30年7月豪雨災害時には、当院がDMATの
活動拠点本部の一つとして対応しました。



機関紙「大沢田」
最新医療情報やセンターの
ニュースを掲載しています



令和6・7年度研修生と豊田研修担当医、今田研修担当医

自由な雰囲気でも一人ひとりの
成長を支援する体制が
整っています



研修医宿舎

臨床研修医のみなさんへ

臨床研修担当医 豊田 和広



当院は広島中央医療圏の急性期中核施設で、アットホームな雰囲気でもチーム医療が円滑に展開され、一般的な病気から高度な治療が必要な疾患まで実に様々な救急疾患も診ることができます。医師として最初の一步である研修医の期間は、将来の医師像を築く上で極めて重要な時期です。ただ単に多くの症例をこなすだけでなく、当院の情熱にあふれ暖かい先輩方の下で一つ一つの症例から学びを得ることの大切さを経験してください。

先輩からのメッセージ

徳本 雄己 医師 (令和5-6年度初期臨床研修医)



当院では、軽症から重症まで様々な疾患を経験でき、上級医の先生方も指導に熱心なため医師として必要なスキルを十分に磨くことができます。電子カルテや仕事用パソコンが一台支給されることも大きな魅力の一つです。学会発表や研修医対象のセミナーが数多くあり、修練を積む機会に恵まれました。ぜひ見学にお越しください。